

*仮設備ヤードとは……

ダムを造るためのコンクリートプラント（工場）や、コンクリートの材料となる碎石や砂等を貯蔵するための設備（資材置き場）

笠野 眞喜議員



Q 立野ダムの利活用策は

A 観光資源として活用したい

笠野議員

立野ダムは本体工事に向けた準備が着々と進んでいる。熊本市内からも近く交通アクセスの良い立野に国内最大級の流水型ダムが出来る。まずは本体工事の施工



立野ダムビュースポット

過程や仮設備ヤードの見学ツアーを立案する考えはないか。ダム完成後の利活用策は。

村長

日本一の穴あきダムになる立野ダムを観光資源として、地域振興を図るために、4月25日に「阿蘇立野峡谷ツアー」を設立した。ダムカレーの開発、インフラツアーの商品化など地域活性化にむけて検討している。

「阿蘇・立野峡谷ツアー」や「阿蘇ジオパーク」などと共に立野ダムを含めた立野峡谷全体を観光資源

として、村の振興に繋がるような取り組みを進める。

Q 立野ダム周辺の地域整備計画は

A 立野ダムと繋がりをもった整備計画をする

笠野議員

村長

して、JRの電化を含めた整備が必要だ。犀角山・長陽大橋付近に展望所を設けて、駐車場や散策路を設置したかどうか。整備計画も観光客誘致に繋がる整備計画をして、ダムを造ったおかげで立派な立野地区になったと次世代に言われるような整備計画にしたい。

仮設備ヤード跡地は、多目的広場や防災機能を持つ複合施設・ヘリポート等を計画している。

ダム完成後の仮設備ヤード跡の整備・立野駅・犀角山・阿蘇長陽大橋周辺の整備計画は、仮設備ヤード跡の利活用には駅舎・ダム工事や震災の資料館・避難所の整備が計画されているが、若者が定住するような住宅の建設を考えてみてはどうか。立野駅は南阿蘇の玄関口に相応しい駅舎に

立野駅周辺はJR立野駅と一体となった南阿蘇鉄道立野駅を目指し、さらに立野ダムと

つながりを持った立野駅整備計画を進めたい。阿蘇長陽大橋付近は、北山周辺の地表断層があり、震災被害の大きさと教訓を後世に伝えるために、村では11カ所の震災遺構を保存することとして、近隣の町や村と連携して回廊型の震災遺構の保存を検討している。

現在、工事中の国道

325号線新阿蘇大橋付近を活用した交流の場も考えている。

これら各拠点施設の相乗効果により、人が集まり地域活性化につながるような地域整備計画を進めていく。

議員の提案を参考に、立野ダム工事事務所とも協議していく。



地域整備計画が進む犀角山周辺